

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		アビリティキッズおおもり（児童発達支援）				公表日	令和 7 年 4 月 16 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	適切だと感じる	机を動かす等して、スペースを確保していく	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切だと感じる	資格保有者を増員できるように採用を強化していく	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	言葉ではなく視覚的にも分かるように環境を整備している 適切だと感じる	活動の時間や活動内容等、その日の予定やスケジュールをホワイトボードに掲示してあります。視覚的な支援ができるよう心がけています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	適切だと感じる	帰る前にお子様たちで掃除をする活動を取り入れています。自分たちの場所をきれいにしよう心がけています。皆様が帰られた後、スタッフでも清掃しております	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別の支援が必要な場合には場所を設けて行っている	クールダウンするときに相談室を使用しております。クールダウンしなくてもいい環境を整えていく	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	できていると感じている	モニタリングや支援者会議の他に毎日パート職員も交えて申し送りして情報共有しております	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	相談等には適切に対応し、改善を行っている	今後も情報共有を続けていきます	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	必要に応じて行えているが全てを把握できているとは考えていない	今後も情報共有を続けていきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	その都度対応・改善を検討している	外部評価を行っていないが、他事業所との関わりをもっている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月の会議時に随時行っている	月1回の勉強会を実施している	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適切に行えている	ホームページ等にプログラム掲載してある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	適切に行えている	もう少し細かな変化をキャッチし、反映していきたい	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	それぞれの子どもの特性を考え、支援する方法を全員で話し合っている	課題を日々確認しながら支援に反映できるようにしている	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	その都度確認を行い支援している	問題なくできている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	適切に行えている	その時の状況を誰が見ても理解できるような記録を志している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	適切に行えている	個別支援計画書にしっかりと記載されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	話し合いのタイミングは少ないが行われている	個別の課題から全体の課題へと昇華させ、支援プログラムを検討している。参加できない等の別れてしまった時の課題は少し残る	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	図工・体育・音楽などの教科に分けることで多様化している 固定化されているためもう少し工夫を必要とする 適切に行われている	ジャンル分けをした上で、細かな内容を子分類化して大枠から外れないようにしながら、細かな内容で変化させている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		状況に応じて組み合わせを調整できている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	行えている時と行えていない時があるため頻度を増やす必要がある	ミーティングを継続していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	それぞれの子どもの特徴を考え、支援する方法を全員で話し合っている 必要がある場合はその日のうちに行っている	左記内容を継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	個別支援記録をつけ、日報とは別に残している	ミーティング内容を元に活動内容へ盛り込み、スモールステップを意識している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	適切に行っている	半年に一回の見直しを中心としているが、変化に応じて細かくできるように改善していきたい
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	適切に行っている	できている。誰でも参加できる状況を作れていない為、全員が同じ発言ができるようにしていきたい
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	適切におこなえ	関係機関との体制は整えているものの、密な機関とそうでない機関と別れているのが現状である。改善できるように検討していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	適切に行っている	緊急性の高い内容については共有することがあるものの、定期的な情報共有は送迎時のその日の状況等に限られる。一人ひとり支援者会議の時間が作れるように検討していく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	新年度には学校に出向き、それぞれのお子様の情報を共有している	就学前の担当者会議等で共有できるようにしている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	機会が少ないため頻度を増やす必要がある	機会を設けていなかった。 地域連携とあわせて検討していく
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	地域の行事に進んで参加している 頻度を増やす必要がある	今後適切な関係性を築けるように検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時などを活用し情報を共有している	連絡帳や個別支援計画等定期的な報告はしているが、授業参観のような直接見れる環境を設けていきたい
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要に応じて行っている	数か月に一回といった短い期間でのペアトレ開催を目指していく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明をし同意を得ている	今後も継続した対応を心掛けていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	確認が行っている	今後も継続した対応を心掛けていく

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	適切に行えている	今後も継続した対応を心掛けていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて行っている	気軽に連絡を取り合えるような関係性を築いていけるように尽力していく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	年に1~2回交流会を行い、保護者の方々との親睦を図っている	もう少し沢山開催できるように計画するよう尽力致します
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	必要に応じて対応している	今後も継続した対応を心掛けていく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	SNSなどを使用し発信している SNSなどの発信頻度が少ないため増やしていく必要がある	今後も継続した対応を心掛けていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	十分留意して行えている	研修を合わせて留意継続していく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	適切に行えている	システム導入による連絡帳のアプリ化等で情報の伝達に配慮している
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域の部会などの主催する行事に参加することで事業運営を広げていくこと目指している 頻度が少ないが行っている	地域住民等の招待ができていない 地域交流できるよう検討していく
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	毎月の会議時に随時行っている	家族への周知はできていなかった。 周知するように共有していく
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	毎月避難訓練を行っている	毎月一回災害に備えた訓練を行っている
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	その都度対応・確認している	より細かく確認できるようにアセスメントの書式等を変更して対応していく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	適切に行えている	保護者からのアレルギーの有無の確認と共に、細かく食べれないものを確認、提供しないように徹底している
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	適切に行えている	今後も継続した対応を心掛けていく
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	適切に行えている	今後も継続した対応を心掛けていく
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	記録として残している	今後も継続した対応を心掛けていく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	毎月の会議時に随時行っている	今後も継続した対応を心掛けていく
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	適切に行えている	今後も継続した対応を心掛けていく	